

友好姉妹都市 北海道更別村を 表敬訪問



8月29日～31日まで、渥美市長、阿部議長、新人議員五名（石森晃寿議員、手代木せつ子議員、齋藤徹議員、土井光正議員、櫻井政文議員）で、友好姉妹都市の北海道更別村を表敬訪問し、東日本大震災時に多額の支援金や支援助物資、そして職員への派遣等、お世話になったことへの御礼を申し上げます。

どこまでも真っ直ぐな道路、広大な畑（じゃが芋収穫中）、そして日高山脈、すばらしい環境の更別村は人口3,300人。第一次産業、第二次産業、第三次産業に全人口の半分以上、約1,800人が就業し、経営面積は平均50ha以上という日本随一の大型農村の村、食糧生産基地、自立する村として「いつまでも住み続けたいまち」を総合計画の目標に頑張っています。

その更別村も当市同様人口の推移は減少傾向にあります。農業収入は年収で1,000万円以上ですので、学生時代を村外で暮らした子ども達も社会人になると村に戻る方も多く農業世帯の戸当りは平均5.2人ということでした。

平成9年に旧矢本町と友好姉妹都市を締結し、「海と大地」子ども交流事業は今なお盛んに行われています。今年で20年という節目の年に更別村を訪問し交流でき、そして歓迎してくださった更別村の方々に厚く御礼を申し上げます。

北朝鮮の核実験及び弾道ミサイル発射に 抗議する決議案を全会一致で可決

平成29年第3回定例会において、右記の議案を可決しました。決議の内容は左記のとおりです。

「北朝鮮が9月15日早朝三度の日本上空を通過する弾道ミサイルを発射し、襟裳岬東約2,200キロメートルの太平洋上に落下した。

8月29日にも弾道ミサイルを発射し、同様な経路を飛翔し太平洋上に落下している。

また、9月3日には水爆実験を行い、6回の核実験に成功したと発表した。

北朝鮮は、国際社会の度重なる強い抗議と警告を無視し、今年になって弾道ミサイルなどを12回、15発発射している。

特に、核実験の結果浮遊する放射能は、確実に日本に影響を及ぼし、我が国上空を通過する弾道ミサイル発射という行為は、我が国の安全保障上、より重大かつ差し迫った新たな段階の脅威である。着弾点付近では、航空機の飛行経路、船舶の航路や漁場があり国際社会の安全保障の観点からも極めて危険であり、断じて容認できない。

北朝鮮による核実験および弾道ミサイル発射は、国連安全保障理事会決議や日朝平壤宣言、六者会合共同声明に明らかに違反する行為である。こうした行為は、国際的な軍縮・核不拡散体制に対する重大な挑発であり、その強硬な姿勢は、我が国を含む地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものである。

よって、東松島市議会

は、これらの暴挙に対し断固として抗議するとともに、日本政府においては、関係各国と緊密に連携し北朝鮮に挑発行為の中止を強く求め、かつ国際社会に対し、国連安全保障理事会決議に基づく制裁措置の完全な履行を強く働きかけるなど、外交的解決に向け必要なあらゆる措置を講じ毅然とした対応をとるよう強く求める。

以上、決議する。

他議会からの視察来庁

- | | | | |
|-------|--|-------|------------------------------------|
| 7月19日 | 山梨県南アルプス市議会公明党（会派）3名
「絆交流から育む観光地域づくりプロジェクト」 | 7月25日 | 名取市議会宮城維新の会 1名
「市民協働のまちづくりについて」 |
| 7月20日 | 愛知県安城市議会建設常任委員会 7名
「野蒜北部丘陵地区震災復興事業について」 | 8月4日 | 名取市議会議員 22名
「東松島市震災復興伝承館について」 |
| 7月25日 | 茨城県牛久市公明党（会派）3名
「東日本大震災時の議会と議員の対応について」 | | |